

事務事業名	出雲の国・斐伊川サミット参画事業		所属部	政策企画部	所属課	政策推進課	
政策名	総合計画体系	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	政策推進G	課長名	佐藤 満	
施策名		(35)観光の振興	担当者名	今岡 靖	電話番号 (内線)	0854-40-1011 3513	
基本事業名	(104)観光資源の開発・充実	予算科目	会計	款	項	目	
			0	1	1	0	
			0	5	3	5	
			4	3			
			中事業				出雲の国・斐伊川サミット負担金

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (19年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	斐伊川・神戸川水系の2市2町(出雲市・雲南市・奥出雲町・飯南町)の首長が集まり、古代出雲文化や観光、教育、産業、芸術文化、福祉などさまざまな分野での連携協力の方策について協議、実施する場としてサミットを開催(年2~3回)する。また、各市町実務担当で適宜実務者会議を開催し、広域観光・イベントPR等の共同実施やトロッコ列車の運行支援等の事業を推進している。	市町村合併後、新たな広域連携の動きが出る中、斐伊川・神戸川流域で一体的に進めるべき活動は多く、設立された。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
構成市町負担金	国庫支出金	千円						
【内訳】	県支出金	千円						
・一般会計;PR事業等共同事業費等 872,400円	地方債	千円				4,300		
・トロッコ列車特別会計;トロッコ列車運行経費等 4,325,100円	その他	千円						
	一般財源	千円	4,742	5,281	5,198	930		
	事業費計(A)	千円	4,742	5,281	5,198	5,230	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
サミット、実務者会議、イベントの共同事業出席等	延べ業務時間	時間	48	48	48	48		
	人件費計(B)	千円	183	187	189	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,925	5,468	5,387	5,230	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	サミット…1回 実務者会議…2回 イベント共同事業…3回	ア サミット首長会	回	3	2	1	2	2	2
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 実務者会議	回	3	2	2	3	3	3
	サミット…2回 実務者会議…3回 イベント共同事業…3回	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	市民・市外の人	⑥ 対象指標							
		ア 雲南市の人口	人	42,402	41,917	41,159			
		イ 2市2町の人口	万人	24	24	24			
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	スケールメリットを活かして、 ア)雲南市を訪れてもらう。 イ)市内で消費してもらう。	ア 観光入込客数	万人	88.4	93.6	95.0			
		イ 観光消費額	百万円	3,846	3,771				
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	ア)雲南市を訪れてもらう。 イ)市内で消費してもらう。	ア 観光入込客数	万人	88.4	93.6	95.0			
		イ 観光消費額	百万円	3,846	3,771				

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は どう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比 べてどう変わったのか?	② この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?
平成20年度に「木次線トロッコ列車活用協議 会」が解散したことを受け、トロッコ列車に関 する事業を引継ぎ、圏域の観光の柱と位置づけ 振興を図ることとしている。	事業費は、トロッコ列車に関するものが 大部分を占め、費用対効果を図るため に事業費の削減も行われている。	トロッコ列車の運行については、関係事業者から支 援継続等を求められている。 広域連携について、大きな要望等は現時点ではな い。

事務事業名	出雲の國・斐伊川サミット参画事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 2市2町の市町が連携して情報発信をすることは、交流人口を拡大させる上で有効と考える。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 2市2町の首長が集まり、その方向性を定め事業を計画するため、行政の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 交流人口の拡大には、広域連携によるスケールメリットに期待するところは大きく、適切と考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 2市2町の連携で交流人口を更に拡大させるには、圏域外の住民の動向及びニーズを把握する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 交流人口拡大に向けたPR活動等の機会が減ることとなり、交流人口拡大施策に影響を与える。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 出雲市との観光連携は他になく、斐伊川・神戸川を一体的に売り出すには、有効である。今後、この事業が核となり、構成市町の類似事業を取り込めれば可能性はある。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 島根県からの補助金も限定的であり、現在の事業展開規模からすれば、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在、事務局を出雲市に担当していただいている。実務者会議出席と首長のスケジュール調整、関係課調整が業務の中心で削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益者は、観光客及び斐伊川・神戸川流域内住民、市民であり、公平と言える。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	広域連携による観光振興、イベント展開は交流人口拡大を進める上で、効率的で有効な手段と考える。本サミットにおいて、現在取り組んでいない分野まで事業拡大すると、他の類似事業との連携、競合といったことも考えられる。現在のところ進めようとしている事業の成果を出すことが第一義と考える。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
現在のトロッコ列車は平成26年度に廃車予定となっている。JRによるとすぐに車両の確保はできないことから、将来を見据えた事業計画が必要となる。また、これまで支援を受けていた県補助金の確保が困難になってきている。																						